

## 1 田植え前から稲刈りまで

萩原地区は標高およそ 400m, 三原市北部の世羅町境に位置しており, 穂が実り始める夏は朝晩の気温差があることから, ギュッと凝縮されたおいしさが味わえます。

また, 芦田川源流の山間部ならではの清らかな湧き水を貯水したため池 神田大池 を利用して栽培しています。

田植え前から稲刈りまでの様子はこの神田大池から撮影しています。

### (1) 春

田植えの時期は, 品種によりますが, 4月から6月です。コシヒカリは4月下旬から5月上旬です。田植えの1週間前にはトラクターで水を張った状態で代掻きをします。水深は3cm程度に圃場を均一に平らにしていきます。

この田植え前の時期は, 太陽の光を圃場の透き通った水面が鏡のように反射します。



撮影日 令和5年5月1日

(2) 夏

田植えから1~2週間で稚苗が濃い緑色に変化していき、圃場に活着したことが目視ではっきりと確認できます。その後は、分けつをしていきます。40日~45日経過した頃には、苗は20本程度の株になります。

7月は濃い緑色に、穂が実る8月には黄緑色に変化していきます。



撮影日 令和5年7月26日

### (3) 秋

天候にも左右されますが春に 10a 当たり 3kg~4kg の籾から育てて植えた苗は, 秋には 500kg 以上の籾となって収穫されます。圃場の水を落とし, 穂の 9 割以上が黄金色になると刈り入れ時です。

籾の乾燥機の発展に伴い近年では圃場での天日干し (はぜほし) の光景は見られなくなりました。



撮影日 令和 5 年 9 月 4 日

## 神田大池

芦田川を源流とした、ため池です。

昭和6年8月1日に神田大池耕地整理組合が設立されました。県営事業で着手され、着工から竣工まで30年の歳月を要しました。昭和16年12月8日に第二次世界大戦が始まり、昭和18年7月18日長雨により堤防が決壊する災害も発生しました。しかし、戦後においても継続して工事が行われ昭和36年3月に竣工しました。総工費一億二千万円(現在価格換算すると約6億5千万円)、水面十町歩(9.91736ha)、貯水量五十五万屯(550,000t)、受益面積百九十三町歩(191.405ha)。(大和町誌から抜粋)





芦田川源流（令和5年4月28日撮影）